

物知りギョウ太とアサミが迫る!

# まちに息づく 子どものか

自分が住む地域のために何か役立つことがしたい——。  
そうした思いを持ち、実際に行動を起こしている子どもが、札幌にはたくさんいます。  
この特集では、身近な地域のために活躍する子どもたちにインタビュー。  
子どもが描くまちづくりのかたちをギョウ太と一緒にみていきます。

【詳細】生涯学習部総務課 ☎211-3825



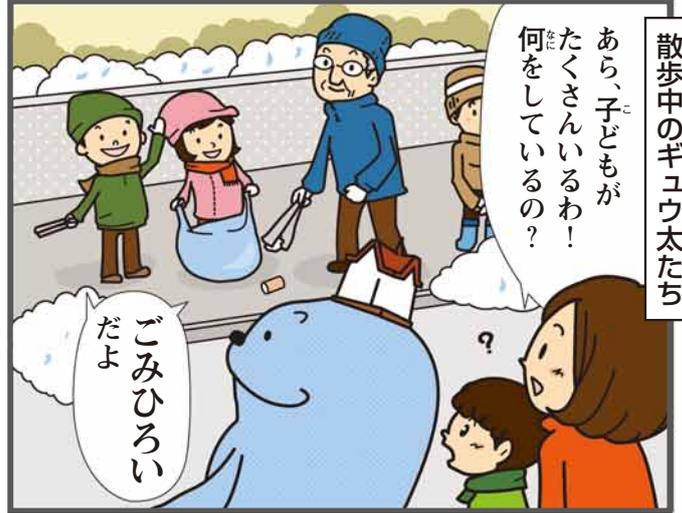
子ども発信の  
まちづくりに密着!

コウタ

アサミ

ギョウ太

あら、子どもが  
たくさんいるわ！  
何をしているの？



学校で「まちをもっと  
きれいにしたい」  
という意見が出たんだ  
町内会の人に話したら、  
一緒にやろうと  
言ってくれたんだよ



### 札幌の将来を担う子どもは およそ28万人！

札幌には、豊かな発想を持つ  
子どもがたくさんいるよ。  
札幌の魅力を保ち続けるため  
には、まちの未来を支える、  
子どもたちの力が  
必要なんだ

小学生以下



18万1,000人

中学生



4万5,000人

高校生



5万1,000人

※[小学生以下] 昨年12月末の市立小学校の児童数と、平成22年国勢調査の6歳以下の未就学児数の合算。[中学生] 昨年12月末の市立中学校の生徒数。[高校生] 市内にある高校の生徒数の合算。市立高校は昨年12月末の生徒数。道立・私立・通信制高校は昨年5月1日の生徒数。

子どもが  
活躍するまちって  
すてきね！



子どもが地域で活躍する

大人も刺激を受け、  
もっとやろうという気持ちになる

まち全体が活気づく！



でも、子どものアイデアで  
地域を動かすのって、  
難しいことなんじゃない？



確かにそうだね

でも、身近な人や地域のために、  
熱い思いを持って行動している  
子どもたちがいるんだ。  
早速、話を聞きに  
行ってみよう！

# GO!

おー！



次のページへGO!

白石区日章中学校の  
生徒が実践！



# 高齢者宅の 排雪をお手伝い

2年生が中心となり、年1回、自力での排雪が難しい  
高齢者の家を訪問。玄関前や庭先の雪を、近所の  
雪置き場などに運んでいます。

ギユウ太 地域の方と力を合  
せて、高齢者の家の周りの排雪  
を手伝ったみたいだね！  
高草木 そうそう。日章中は地  
域の方とふれあう機会が多くて、  
一緒に花を植えたり清掃をした  
りしているよ。生徒会で今回の  
排雪ボランティアに参加する生  
徒を募ったところ、学校が休み  
の土曜日にも関わらず約70人が  
来てくれたんだよ。  
ギユウ太 排雪のお手伝いって、  
どんなことをするの？  
高草木 おばあちゃんの家の玄  
関先や塀の周りに積もった雪を  
スコップでかき出して、近所の

雪置き場に運んだよ。  
ギユウ太 力仕事だね。大変じゃ  
なかった？  
高草木 寒い日が続いていたか  
ら、雪が硬く凍っていて腕が少  
し痛くなったかな…。でも終  
わった後におばあちゃんが「あ  
りがとう」と言葉を掛けてくれ  
て、とてもうれしかった！  
ギユウ太 これからもボランティ  
アを続けていくの？  
高草木 うん。自分が暮らす地  
域のために活動するのは、日章  
中の素晴らしい伝統だと思っ  
ています。これからも積極的に参  
加していきたいです！

## ギユウ太が子どもにインタビュー！



日章中2年 高草木 颯さん  
昨年10月から生徒会長として、地域の方と協力して  
行うボランティアのリーダーを務めている。

## 当日の子どもたちの動き

- 10時15分 スコップやそりなどを準備
- 10時30分 高齢者宅に移動し、排雪開始！
- 11時45分 作業終了。地域の方の手作り  
おにぎりと豚汁を食べながら交流会
- 12時30分 代表者が感想を発表して終了



地域の方に聞きました！

子どもの笑顔が  
地域を元気にしています

硬くなった雪を割り、排雪するのは大人  
でも大変なことです。子どもたちが笑  
顔で協力しながら作業する姿を見て、心  
が温まりました。  
これからも子ども  
たちと一緒に、地  
域を盛り上げてい  
きたいですね。



東札幌まちづくり協議会 丹田 寛さん



へ 塀付近の雪を崩し、運搬用のそりに載せる  
生徒たち。丁寧に排雪し、新たな降雪への  
備えを万全にしました ▶



◀ 花植えには約60人の子どもが参加。あいさつや花壇の世話を通して地域の方とつながる場所にしたいという願いから「あいさつロード」「ふれあい花壇」と名付けました

地域の方に聞きました！

元気にあいさつをする  
子どもが増えたことを実感

子どもたちと一緒に花を植えてから、地域の人にあいさつをしてくれる子どもが増えました。みんなが名付けた「あいさつロード」という名前の通りですね。これからも、子どもたちの元気な声が響く地域であり続けたいです。



西北野町内会 やまざき あつこ 山崎 敦子さん

清田区北野小学校の  
児童が発案！



安全できれいな  
遊歩道づくり

通学路でもある遊歩道の脇に、大人の背丈ほどの植物が茂り、ごみも散乱していました。そこで、地域と区が植物の撤去を決定。子どもたちも知恵を出し合い、きれいな花壇につくり変えました。

アサミが子どもたちにインタビュー！



北野小6年 やま ひ たい よう かの み き 山日 太陽くん 菅野 未希さん

遊歩道を安全できれいにするために知恵を絞った子どもたち。山日くんは花壇に植える花の種類を決めるグループの一員。菅野さんは活動を全校児童に発信するポスターの作製を担当。

**アサミ** この遊歩道、以前は危険で汚かったって聞いたわ。  
**菅野** そうなの。背の高い植物が生えていて、その裏に大人が隠れられるほどの空間があったから、歩くのが怖くて…。ごみもたくさん落ちていたよ。  
**アサミ** それを改善するために知恵を出し合ったのよね。  
**山日** うん。クラスで話し合った後、学年で意見をまとめて花壇をつくることに決めただんだ。  
**菅野** 前から「遊歩道に花壇ができたならきれいでいいね」ってお母さんとも話していたの。実現したのでびっくりしちゃった！

**アサミ** どんな花を植えたの？  
**山日** 地域の人の声も聞いて、清田区の花のルピナスや、色鮮やかに咲くマリーゴールドを植えたよ。  
**アサミ** 植えたときの気持ちを聞かせて！  
**菅野** 気温が30度くらいあって暑かったけれど、気持ちよく歩ける道にしたいと思ったら頑張りました！  
**山日** 普段はなかなか会えない地域の方とお話できて、とても楽しかった！ ぼくが卒業して大人になっても、きれいな遊歩道のままであってほしいな。

実現までの道のり

おとし8月 地域の方や先生が集まる会議で植物の撤去が決まる  
10～11月 撤去後の跡地をどうするか、子どもたちが話し合う  
昨年1月 花壇をつくることを決定。花の種類や活動を住民へ伝える方法など話し合いを重ねる  
6月 「あいさつロード」「ふれあい花壇」が完成！

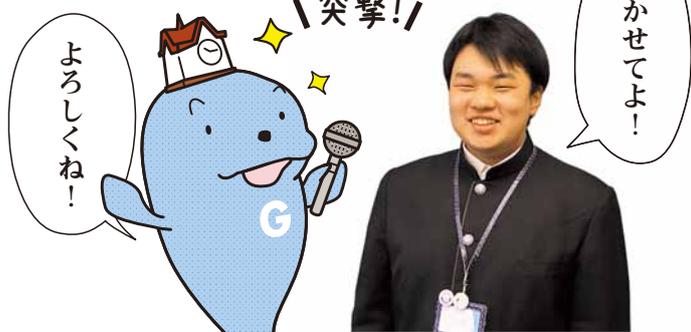
しん かわ  
北区新川高校の  
生徒が発案！

清掃

# 地域を巻き込む 落ち葉ひろい

新川高校の生徒会メンバーの熱い思いに賛同した  
しん かわ しん こう しん かわ にし  
新川小・新光小・新川西中の生徒たちと町内会が、  
地域の公園の落ち葉ひろいに取り組んでいます。

ギユウ太が子どもにインタビュー！



新川高2年 三河 侑矢さん

合同落ち葉ひろいのリーダーとして、企画・運営を  
行った。生徒会の副会長も務めている。

ギユウ太 秋は紅葉もみぢがきれいだが、落ち葉は厄介なこともあるよね！  
三河 落ち葉は滑って転ぶ原因になったり、道路や公園の雨水あまますを詰まらせたたりもするんだ。  
ギユウ太 それで落ち葉ひろいを始めたんだね！  
三河 うん。生徒会で話し合う中で、せっかくやるなら近くの小中学校や地域の方と一緒にできたらいいなっていうアイデアが生まれたんだ。  
ギユウ太 みんなが協力してくれるか心配じゃなかった？  
三河 最初は不安だったけど、

各校や町内会の方と話し合いを重ねるにつれて「できる」という気持ちに変わっていったよ。  
ギユウ太 当日はたくさんの方が集まったみたいだね。  
三河 700人の方が来てくれたんだ。ひろった落ち葉の量はなんとごみ袋80袋分！ 地域の人々も喜んでくれたよ。  
ギユウ太 地域をより良くするための仲間がいて心強いね！  
三河 そうだね！ 今回のボランティアをきっかけにできた仲間を大切にしながら、これからも、人の役に立つ活動を続けていきたいです。

## 実現までの道のり

昨年 6月 新川高校のみで行っていた落ち葉ひろいを地域で行おうという意見が出る  
7~10月 近隣の小中学校の生徒会や町内会の役員との会議を重ねる  
11月 4校と町内会の合同開催を実現！



地域の方に聞きました！

## 高校生を中心に 地域がつながった

身近な公園をきれいにするため、子どもから大人まで力を合わせて落ち葉を集める姿に感動しました。地域の幅広い世代がつながる良い企画。こうした活動を今後も続けていけるといいですね。



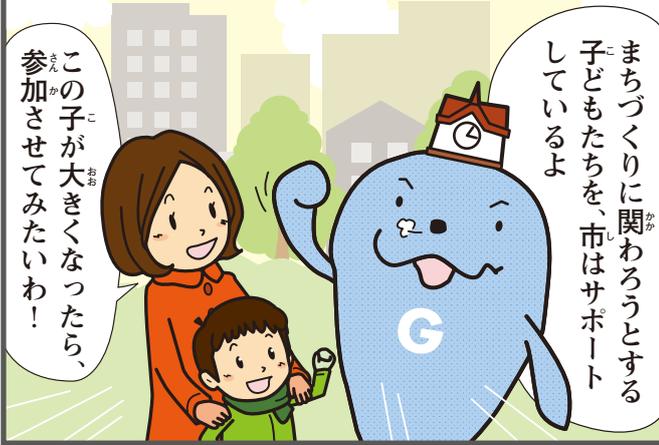
新川町内会 瀧林 一彦さん

熊手を使って落ち葉をかき集める生徒たち。協力して作業することで、学年を超えた交流が生まれた



自分のまちや身近な人々のために

# 子どもたちが活躍する場は他にも！



複数の学校の子どもたちが集まり  
地域の課題を語り合う

生徒会  
役員が  
参加

## 生徒会サミット



同じ区内の中学校の代表者が集まり、生徒会の運営方法や、地域の魅力を向上させる方法を考えます。豊平区・手稲区で実施しており、出された意見は地域と共有し、まちづくりに生かされています。

子どもならではの視点で議論し、  
市長に提言

7月ごろ  
参加者  
募集

## 子ども議会



公募で選ばれる小学5年～高校生が「子ども議員」として、札幌をより良いまちにする方法を話し合います。約3カ月の活動後、実際に市議会が行われる議場で、市長に成果を発表します。

地域活動の拠点である  
まちづくりセンターの仕事を体験

7月ごろ  
参加者  
募集

## 子どもまちセンター一日所長体験



小学5年・6年の希望者が、まちづくりセンター所長の仕事や、防災・花植えなどの活動を体験。子どもたちが自分の住む地域への関心を高めるとともに、愛着を深めることにつながっています。

募集  
します！

## 地域で子どもが活躍する 取り組みを教えてください

住所、氏名(ふりがな)、電話番号を記入し、4/10(金)(必着)までにはがき、ファクス、Eメールでお寄せください。いただいた情報の一部は、本誌で掲載する予定です。掲載させていただいた方にはQUOカード(500円分)を差し上げます。

送付先 広報課 〒060-8611中央区北1西2  
ファクス 218-5161  
Eメール kohokakari@city.sapporo.jp

